

2020年7月29日

機能別病床数変更理由

当院は、国際医療福祉大学附属病院として新たにスタートして3年目が経過しました。

その間、教育機能を加えるとともに専門性の高い附属・関連施設とも連携しながら、高度な診療と療養環境の整備を進めて参りました。

今般、アジアにおける教育・医療の拠点となる国際医療福祉大学成田病院が同じ千葉県内に開院したことを受け、学内で検討した結果、成田病院と市川病院の機能を分担することになりました。具体的には、成田病院は医学部の本院としての機能を充実させ、市川病院については回復期リハビリテーション病棟と療養病棟を持つ特性を活かし、高齢者医療・リハビリテーション医療を中心に、神経難病センターを新設するほか、整形外科分野をより充実させて今後は運営して参る所存です。

また、そのような状況の中で、一般外科・消化器外科については、化学療法研究会附属病院の頃から長年にわたり地域において医療を提供して参りましたが、前述のような病院機能の変更という観点より、この9月をもって廃止とする方針です。

以上の理由により、回復期リハビリテーション病棟(療養病床)の増床につきましてご承認の程、よろしくお願い申し上げます。

国際医療福祉大学市川病院